

# 探索者【ふなっしー】の多分東方扱いの日常伝

1クリ100ファンの人

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

あーふなっしー書きたいしクトウルフしたい。

でも一緒にやる人がいない……。

そうだ！ふなっしーを探索者とした小説を書けばいいんだ！

その1『このすば』

その2『東方Project』

その3『転スラ』

どの舞台にしようかな……あつそうだダイスで決めよう。

## 【1d3↓2 東方Project】

そんな経緯で作られた手抜き小説です。

目次

第1話 なっしー!	1
第2話 ブシャー!	8

## 第1話なっしー!

『コツケコツコーツ!』

となりの家から家畜として育てられている鶏が一斉に鳴きだし、この辺りの民家に響き渡るなっしー。

本来なら近所迷惑として文句言われてもしようがないけれど、みんな目覚まし時計代わりに使わせてもらってるのでむしろ感謝してるなっしー!ふなっしーもその一人なしな!。

取り敢えず梨から妖精モードになって台所に行ってみるなっしー!

「おはよう。もう起きたのか?…すまないが朝食はまだできていないのだ。もう15分程待つてくれ」

そこには、ふなっしーを泊めてくれている家主さんがいたなし。名前は上白沢慧音!ふなっしーの恩人なっしー!

失礼のないように元気に挨拶するなし!

「おはようございますなっしー!15分…おっけーね!散歩でもしてくるなっしー!」

…あつ、ついうっかり慧音とオツケーを掛けたダジャレを披露してしまつたなっしー!?

「…その時々混じるダジャレはどこで覚えてきているのだ?」

【言いくるめ↓8 / 45 成功】

「く、癖みたいなものなし!気にしない気にしない!…それじゃあ出かけてくるなっしー!」

「ああ、気をつけるんだぞ」

「わかっているなっしー!」

ふなっしーは引き戸を開けて外に飛び出したなし!…ふう、なんとか勢いで有耶無耶っぽくできたなしな!。

「あつ、梨の妖精さんだ!」

「ふなっしー?!本当!?何処?何処!?!」

「おーい、ふなっしーさーん!こつちこつち!またあのジャンプみせてよー!」

あつ、あの子達は近所の子供なしな！

ふなっしーのジャンプが見たいと言うセンス抜群の将来が楽しみな子供達なっしー！

それじゃ、いっちょやってやるなしな！

【跳躍↓100/99 ファンブル!?】

「トウ！あつ、バランス崩し…」

”ベチャツ！”

「アウチツ!？」

【ダメージ1d3↓1】

【耐久値15↓14】

あーっ!?! 思いつきりお腹をうちつけてしまったなっしー!

本当は足から着地したかったなしなー!

お陰で梨汁が少し漏れてしまったなし!

「妖精さん大丈夫ー?」

「あれっ、何かいい匂いがするー!」

「ふなっしーから出てるこの水、なーにー?」

子供達殆ど動じてないなっしー!?

これは本当に大物になるなしな!

「これは梨汁なし! 美味しいなしよーっ。特別に飲ませてあげるなっしー!」

「本当!?! 飲む飲む!」

「じゅるり…」

「ふなっしーありがとうっ」

よし! いくなしよ〜!

「梨汁〜! ブシャアアアアアアアアアアアツ!!」

【制作（梨汁）↓64/80 成功】

周りに飛び散らないよう手のひらから出してみたなっしー!

「ふなっしーの梨汁は手に触れてもベタつかない最高のものなしよ! たーんと飲むなっしー!」

「わーい!」

「じゅる…じゅる…コイツアうめえ…!」

「五臓六腑に染み渡るって感じがする…!」

子供達は溢れる梨汁を手ですくって飲んだけど、約2名反応がおかしかつたような気がするなっしー。

【アイデア↓80／60 失敗】

まあ、子供はわんぱくでこそ子供なしからな!

「あつ!そろそろ行かないと場所取られちゃう!」

「じゅる…:はっ!そっ!そういえばそうだった!」

「ふなっしー!これからちよつと急がなきゃいけないことがあったから今日はこれで!また飲ませてね!」

「ん、わかつたなしよ!何するかはわからなしだけど頑張るなっしー!」

「二はい!」

そう言つて子供達は山の方に駆けて行つたなっしー。

結構朝早いのに場所が取られるかもしれない、なんて心配するつて、一体何をするなしな?。

気になるなしな。

【POW×5↓3／50 クリティカル!】

…:追いかけたら15分過ぎてしまふなっしー。

「ここはぐつ、と我慢して近所徘徊といくなしよ!」

「うーん、あと…:10分くらいなしか?…:散歩に行くとしても本当にブラブラして終わりそうなっしー」

おっちゃんとか話したりは出来なしそうなしな。

ちよつと残念なっしー。

「あれ?そこにいるの、ふなっしーかみよん?」

「ヒヤッ!こ、この声は妖夢ちゃんなしかっ!」

思わず顔をキュツと叩いて縮めてしまつたなっしー!

「こんな朝早くから奇遇みよんね。慧音さんのおつかいかみよん?」

「…:ただの散歩なしよ!」

ふなっしーはジリジリと妖夢ちゃんと距離を取るなし。ふなっしーはこの子のこと、少し、いや結構苦手なっしー。だつてふなっ

しーを輪切りにしようとしたなしから！

……その時は辻斬り幽霊に取り憑かれていたとはいえ、怖いものは怖いなっしー。

「……なら私の買い物に付き合わないかみよん？散歩するくらいなら、暇みよんよね？」

【目星↓86／25 失敗】

【オカルト↓40／65 成功】

にこやかに話しているなしが、梨の妖精モードのふなっしーにはわかるなし。オーラの的なものが。

今妖夢ちゃんは、輪切り妖夢ちゃんとおなじくらいちよつとおかしくなってるなっしー！

「朝ごはんが出来るまでの短い散歩なしから、遠慮しておくなっしー」  
「えーそんなこと言わないでほしいみよん。それに、短い買い物みよんよ？だって……『梨を1つ』みよんからねえ……」

【アイデア↓7／60 成功】

「……その『1つの梨』は、もしかして、ふなっしーことなしか？」

「ふふふ……正解みよん。……私、魂魄妖夢は貴方を買いに……いや、もらいに来たみよん！」

「マンボウツ!？」

【戦闘開始】

【DEX順に行動…先行、ふなっしー】

やっぱりおかしくなってるなっしー!!

ど、どうするなしか!?今は前みたいに頼れる人がいないなし!

と、とにかく!冷静になってもらうなっしー!

【言いくるめ↓】

「お、落ち着いてほしいなしよ!今妖夢ちゃんは冷静に物を考えられていないなっしー!」

「フヘヘ……そんな言葉で引くとも思ったみよんか？」

【81／45 失敗】

ダメだったなっしー!?

【魂魄妖夢の行動】

「言いたいことはそれだけみよん？なら、捕まえちゃうみよん！」

【組み付き↓39／45 成功】

【武道 古武術↓37／61 成功】

【ふなつしーの目星（強制）↓21／25 成功】

ヒョワアアアッ？!

妖夢ちゃんその動きもしかして【武道】なしか!?ま、前に見せてくれた時と同じ動きなしよ!?

捕まったらおしまいなし!あれは素人の回避だと容易に組み伏せられるだけなしから、ジャンプして屋根の上に登るなつしー!

【幸運↓11／50 成功】

幸いこの辺りは低い屋根ばかりで助かったなし!

【ふなつしーは魂魄妖夢とのDEX対抗を成功させた場合、跳躍を行うことができる。しかし、急いでいるため、技能成功値は—20%とする】

【DEX対抗↓18／55 成功!】

【跳躍↓57／79（—20）成功!】

「ここで捕まるわけにはいかないなしよ!トウ!」

「あつ避けられた!」

シユタアツつしー!

【2ラウンド目】

ぜ、前回はそのスジのスペシャリストがいたなしから問題なかったなつしー!でも今回頼れる人がどこにいるかわかんないなしな!—

つまり、なりません!なしな!

（せめて場所さえ分かれば空飛んでいけるなしけど……。今までの会話を思い出して今日どこにいるか聞いてないかを考えてみるなし!）

【アイデア↓38／60 成功】

【ふなつしーは、そのスジのスペシャリストがいる場所を思い出した】

ハッ!

そういえば、

『山で僕の握手会?みたいなのが開催されることになって……。構ってもらえるのは嬉しいけど、ここまで熱烈だと困っちゃうなあ……。フ



フツ。でも、ほんつとに楽しいよ!』

って言つてなっしー!いつもの服装で行くとも言つてた気もするなしよ!確か、オーバーオールに緑の帽子だったはずなし。

幻想郷ではなかなかお目にかかれない珍しい格好なっしー!

【それを貴方が言いますか…】

「レッツゴー!なっしー!」

【制作(梨汁) ↓72 / 80 成功】

【魔法『ヒヤッハーツ!』を発動します】

【耐久値14 ↓13】

「ヒヤッハーツ!」

説明するなし!

ふなっしーは足の裏から大量に梨汁を噴射することによって空を飛ぶことができるなしよ!

ただ、使いすぎると梨の妖精モードが解けて元の梨に戻ってしまうのが欠点なしなー。

「むっ!逃がさないみよん!」

【追跡 ↓28 / 10 失敗】

【魂魄妖夢は突然空を飛んだふなっしーに反応出来ず、出遅れてしまふ。姿を見失った】

「おさらばなっしー!」

「あーっ!逃げられちゃったみよん!むーっ…水々しい果汁に思わず抱きしめたくなる愛くるしいそのボディ!今度会った時には絶対手に入れて見せるみよん!ああつ、早く齧り付きたいみよおおおん…!」

【魂魄妖夢のアイデア ↓91 / 90 失敗】

【梨汁ののこった後を追えばいいと言う事実には気づかなかつた】

ふう、なんとかかまけたなっしー。

……ん?何か忘れているような……?

【アイデア ↓97 / 60 ファンブル】

ま、気のせいなしな!

今はとにかく捕まらないのを優先するなっしー!

【……ふなっしーは完全に失念してしまった】

【15分で散歩を終えて朝食を食べると言うことを】

## 第2話ブシャー!

山あー! ついたなっしー!...そろそろ飛ぶのも限界なしから地面に降りるなっしー。

「ここから山へと踏み込むため、目的地までまっすぐ行けるかナビゲート」

【ナビゲート↓72/10 失敗】

...道がわかんないなっしー。

というか完全に迷ってしまったなしなー!?

ど、どうすればいいなしか...??

【遭遇表1d8↓5】

「ふなっしーがオロオロしていると、背後から懐かしい声がかかった」  
「おいそこの妖怪。こんなところで何やってんだぜ? って、ふなっしーかよー! 久しぶりだなあ!」

「ふなっしーはアイデアで思い出す必要も無くこの人物がわかるだろう」

【彼女の名前は霧雨魔理沙、お転婆魔導書泥棒だ】

「何が久しぶりなしか! ふなっしーは前にイリユージョンの中に身体を突っ込まれたこと、忘れてないなしからね!」

あの時は酷かったなっしー!

何せ、ふなっしーのイリユージョンの中はいろんなものが収納できるなし。

ってことを魔理沙に話したらいきなりイリユージョンの中に飛び込んで来たなっしー!

あの時は本当にビックリしたなしなー。

身体の中をモゾモゾ動かれるのはなんとも言えない感触だったなっしー。

「いやーあの時はちよつと好奇心が暴走しちゃったんだぜ! 誰にだって知的好奇心をくすぐられると我慢できないもんだろ?」

【言いくるめ↓2/5 CRITICAL!】

「ふなっしーは完全に魔理沙の方が正しいと思うこんだ。今後霧雨魔

理沙はふなっしーに対しての言いくるめルールが+20%される」

「……そうなしな！確かにそのとうりなっしー！」

「(ブツw！マジかこんなんでも騙せんのかこいつ…相変わらず脳内ヒヤッハーだぜ！) そうだろそうだろ…！…でだ、こんなところで何してたんだ？」

あっ！思わず忘れそうになってたっしー！

とりあえず状況を説明して道を知っているかを書き出してみるなし！

「ふなっしーはーこれから幽霊の専門家のところに行くなしよ。ちよつと里でふなっしーをやたらと切りたがる幽霊に取り憑かれた女の子がいたなしからね！」

【霧雨魔理沙の知識ロール↓59／90 成功】

「あー…もしかしてそいつ、あつ女の方な？つて白髪で脇にこう…モフモフしてそうな球体が空いてなかったか？」

「んー」

ちよつと思いついてみるなっしー。

【アイデア↓30／60 成功】

ホウ！特徴どうりなしな！

「そうなしな！もしかして、知り合いなしか？」

「ああ。妖夢のことだろ？あいつは元々辻斬りだぞ？知ってるかも知れないが、あいつは半人半霊。半分幽霊だから取り憑かれるってことはないと思うぜ？」

【信用↓15／15 初期値成功】

「ヒヤッ!?マジなしかつ!？」

と、と言う事はあれが妖夢ちゃんの素なしかつ!!

じゃあ、前回掃除機で幽霊吸った後ブラシでゴシゴシ洗ってたあれは何だったなっしー!?

【アイデア↓36／60 成功】

ハッ！

半分幽霊ってことは、幽霊を触られた時の感覚が本体の妖夢ちゃんにも伝わるってことなっしー!!

幽霊をゴシゴシ洗ってた時のへんっ…!〜とかへあっ…ふっ…ん  
ふうっ…!?!〜とかは苦しくて訳じゃなくて、擦りたいと思ってたなし  
か!?

【ガタツ】

今誰か椅子から立ち上がった気がするなっしー。

【何故バレた?!】

そうふなっしーがウンウンと考えているなしと、魔理沙が話しかけ  
てきたなっしー!

「…あー前回なんかあったんならさ、今回もそいつを頼ればいいと  
思うんだが」

…結局はそれなしなー!

「ハッ!結局はそこに行きたくなしね!!それなら早速…あっ!」

重大なことを思い出したなっしー!

と言うかー、これをどうするかで悩んでたのを忘れてたなっしー!

「……今度はなんだぜ?」

あっ!若干呆れ顔してるなし!

ちよつと失礼じゃないかしら!?

…まあいいなし。取り敢えずこれだけは聞いておくことにするっ  
しー。

「魔理沙はルイージの握手会場を知らないかしら?」